

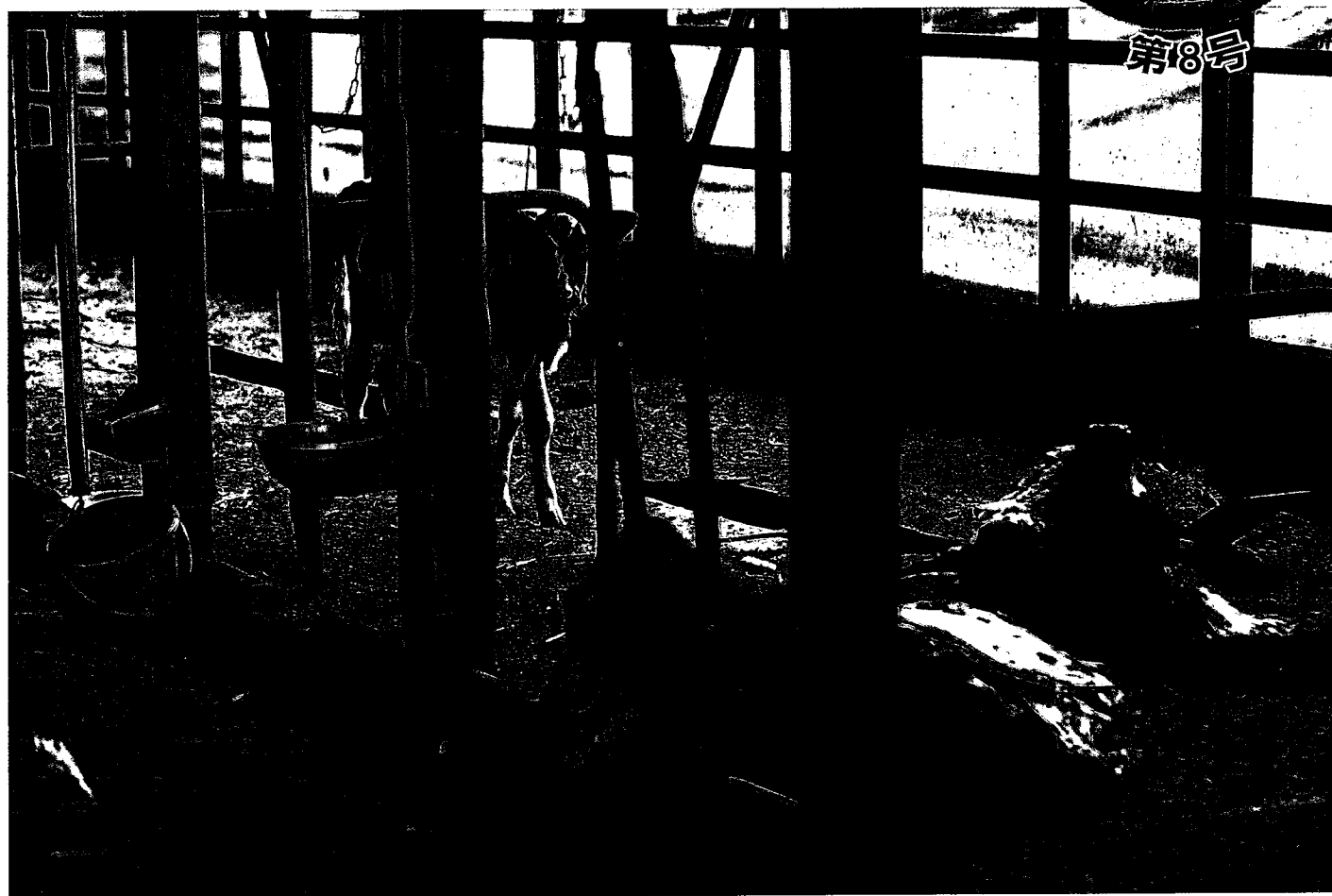
Take Free



決死救命、団結！そして希望へ

BECCO新聞

第8号



「母牛と思しき亡骸のそばにたたずむ子牛(後のいちご)」2011年7月
撮影 木野村匡謙

大震災と原発爆発事故から10年、その先へ。

今年3月で大震災と原発爆発事故から10年、その記憶は薄れ、風化の中で復興というリセットが本格的に始まり、道の駅なみえが完成しました。希望の牧場には、昨年度末の調査で被ばく牛237頭が生き残っています。

当時警戒区域内では餓死や殺処分が当たり前の状態の中でも国の方針に反して堂々と牛達の命を守り、原発事故の時代を乗り越える証として、シンボルメモリアルとして寿命尽きるまで、被

ばく牛と運命を共にします。

女川、東海第二、柏崎刈羽など、原発再稼働が本格化します。また、福一原発の放射能汚染水を海に流しても、安全宣伝が始まりました。

菅首相も「適切な時期に政府として責任を持って汚染水の処理方針を決める」として、2022年夏には一時保管のためのタンク容量は限界を迎えます。浪江の請戸漁港は原発からわずか6Kmです。今年4月の本格操業開始など台無しになりま

す。絶対に汚染水放出を止める闘いを皆でしなければと思います。

浪江町の大柿ダムの水を利用した本格的米作りの再開の為に、大きなカントリーエレベーターの建設が始まり、帰還困難区域の水源地の汚染などもう全く問題が無い程のリセット(切り替え)が始まります。

結局、数パーセントしか人が戻らなくても、小学校、中学校の解体、住宅街の更地がどんどん広がっても、自治体



現在のいちご

としての浪江町は存在し、職員数は300人が続くのです。

復興と荒廃化の矛盾のせめぎ合いといった浪江町の姿をよく見て、考えていきたいと思っています。

3.11を忘れるな！
決死救命、団結！
そして希望へ

2021年3月
希望の牧場・ふくしま
代表 吉沢正巳

吉沢ロングインタビュー

被ばく牛を生かし続ける意味

2021年3月11日で原発事故から10年。
牛飼吉沢に、希望の牧場と浪江町の将来予測を聞いた。

**一あらためて、希望の牧場の
ゴール(目標)を教えてください。**

スタートの時は「10年間」を区切りと考え、その時期がもうじき来るんだけど、牛の寿命を考えるとまだ相当生き残るんだよね(牛の寿命は15~20年)。暮れに実施した頭数検査では今237頭。牛の寿命が尽きるまで世話を続けるということでは、あとプラスもう5年、全体としては2011年から15年間という相当な長い時期、牛たちを飼い続けながら3.11のメモリアルとして、原発事故の生きた証しとして、みんなで見たい、ここに見に来て一緒に考えていきましょうと。原発事故で浪江町は人が戻ってこない街になってしまったんでね、原発を終わりにしていく時代を当然、日本は選択しなくてはならない。「原発を終わりにする」と牧場は言い続けていかなくちやいけな。

**一この3月で67歳になりますね。
「もうやめよう」と思うことはありませんか？**

うん。体もだんだん言うことをきかなくなってくるだろうし、勘も鈍くなってきた。この間なんて、ダンプを運転中に2度も横転しちゃったよ(苦笑)。でもまだ230を超える牛がいるわけで、今までずっとみんなの募金でやってこれたけども、資金がいよいよ苦しくなってきた。今は(個人の)貯金を切り崩しながら、かなり持ち出しになっちゃってるんだよ、今ね。でも自分が始めた

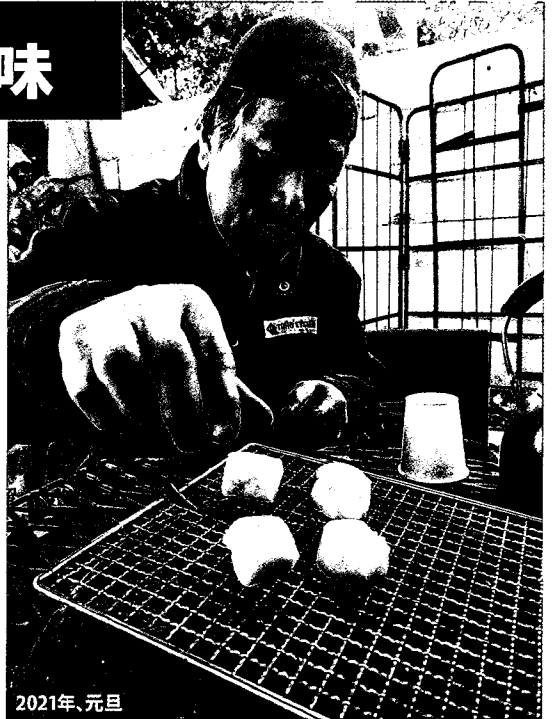
ことだからこれはやむを得ないこと。国に対して、希望の牧場は、原発をもう終わりにすべきだと、こんな時代を終わりにしていくんだと言い続けてきた手前、絶対に折れるわけにはいかないんで、この気持ちを持ちながら、みんなに何とか理解してもらえるように、つまり宣伝をしっかりしながら理解を広げていく。相当苦労すると思うけど。やっぱり希望の牧場こそが、原発を乗り越える社会を実現するその日まで、必ず残る覚悟が絶対必要になってくると思うんだよね。

**一原発事故から10年。
街の様子や人々の思いに何か変化はありますか？**

10年目にしてね、いよいよ復興に向けたものすごい姿の変わり様が浪江でも見られる。今、国から特別復興予算が年間470億円も来てるわけだ。請戸漁港もこの4月に本格操業が始まる。しかし第一原発との距離が近い場所なんだよね。汚染水を海に流す話がずっと続いてるんだけど、請戸の漁業にとっては汚染水を流したら相当なダメージが間違いなくある。福島県漁業の安全安心なんて信頼できないんだよ。でも、もうすでに港関係あるいは堤

防や競り市、魚の加工団地なんかの建設工事が大規模に始まっていて、200億を超える復興予算が浪江だけで集中的に使われているわけだ。

道の駅もできた、凄い施設だね。かつての、みんなが戻って来ない浪江町のどうしようもない姿からするとさ、あれよあれよという間にすごいことがいよいよ10年目にして姿を表している。これを理解するには相当頭の中をリセットするというか...つまり浪江っていうのは今やりセット、リビルド、リフォームなんだよ。あの原発事故があったことなんかすっかり忘れて。忘れちゃいけないんだけど頭を入れ替えないとそういう大規模事業のさ、国のめっちゃくちゃな予算を使った復興事業って



2021年、元旦

うのはさ。ただやっぱり、浪江町に人は帰ってこないのは事実なんだよね。どんなにめざましく復興の取り組みが集中的に国のものすごい金を使ってナニ作ったりカニ作ったりが起きてるんだけど、やっぱり人が帰らない、戻らない、それがどうしようもなく壁として残ってるわけ。だから国は外から人を新しく移住させるわけだ。移民、移住という国の方針だね。浪江に新しく住んだ人には200万円出すとか、お金で人を引張ってくる

というようなことがいよいよ始まってくる。それしか



福島第一原発を見据える吉沢

もう道がないわけだ。離れた人はなかなか戻りづらい。忘れたわけじゃないけど戻らない。だからホントに移民であり移住なんだよ。復興予算に乗れる人、それに群がる人達はいい思いをするかもしれない。だけど、浪江を離れた人達はもう帰れないわけだから、帰ってこないわけだからそういう人達は切り捨てられる、そういうところになってしまふわけだね。

一ますます希望の牧場の存在意義が問われている？

希望の牧場はこれからも、みんなにどうぞ来てください、見てください、牛達の姿を見ながら、一緒に、なかなか容



パイナップルを頬張る牛たち

易でない「原発を終わりにする」「日本の未来の社会をどう作っていくか」ということを議論していく場にしていきたい。もう原発はサヨナラしながら、自然再生エネルギーが当然世界の流れになっているわけだから、その道に進んでいくことが大事だし、そ

の事をみんなが本気になって議論して原発を終わりにしていく、そのためにここを見て考えてそして行動する、希望の牧場をそういう場所にしていきたい。自分もそういう考えを持って講演や学校なんかに出かけて、子どもやおとなたちに話をしていきたい。双葉町に伝承館ってというのが出来たんだけど、浪江の希望の牧場だって“伝承”の場所になるわけよ。あそこを見ながら、浪江の希望の牧場も見ろと。あの当時の牛がこうして生きているじゃないかと。金にならない牛を生かすにはちゃんと意味があるんだと。今の経済オンリーの

社会の中で、この希望の牧場っていうのは特異な存在になってるんだよね。「えっ!」っていう

場所なんだよ。今後も、これを完結することに、我々は意味を持ち続けてきたし、それが原発を止められなかった我々の償いであり、役目でもあると。とにかく牛が生きてるうちは、あと5年はしっかりこの場所を買かなくちゃならないってことなんだよね。

希望の牧場・ふくしま 10年の歩み

2011

- ・3/11 午後2時46分 東日本大震災発生
- ・3/12 福島第一原発1号機水素爆発
20km 圏内住民に避難指示
- ・3/14 3号機水素爆発
- ・3/15 2号機水素爆発
- ・4/22 政府、原発から半径20km 圏内を警戒区域に設定
- ・5/22 政府、警戒区域の家畜の殺処分を決定
- ・7/27 希望の牧場・ふくしまプロジェクト発足
- ・8/19 ライブカメラにて映像配信開始
- ・8/26 サポーター、募金制度始める
- ・11/5 吉沢、波谷ハチ公前街宣始動

2012

- ・4月下旬 「希望の牧場・ふくしま」非営利一般社団法人化
- ・5/11~14 原宿「ART IN GALLERY」にて初の写真展開催
- ・6/28 檜葉町から「やまゆりファーム」の牛67頭を希望へ移動物
- ・11/3 「原発一揆」発刊

2013

- ・9/6 農水大臣に汚染牧草の運用基準緩和を要請

2014

- ・6/20 吉沢、被ばく牛を連れて霞ヶ関で抗議行動
- ・10月 「やまゆりファーム」が牛67頭の飼育を放棄

2015

- ・1月 「BECO新聞」創刊、絵本「希望の牧場」刊行
- ・11/11 宮城県白石市が汚染牧草1,100個を希望に提供

2016

- ・8/11 ふくちゃん部屋にライブカメラ設置
- ・9/20 「やまゆりファーム」を提訴 飼養責任を問う
- ・10月 希望の牧場バスツアー催行
- ・11月 吉沢、初のインド海外街宣

2017

- ・8月 伊東獣医師 退任
- ・9月 吉沢、フランス遠征
- ・12月 産業廃棄野菜・果物の大口受け入れ、始まる

2018

- ・3月 「やまゆりファーム」裁判完全勝訴 希望の牧場ロゴマークリニューアル
- ・6月 吉沢、浪江町長選挙に出馬

2019

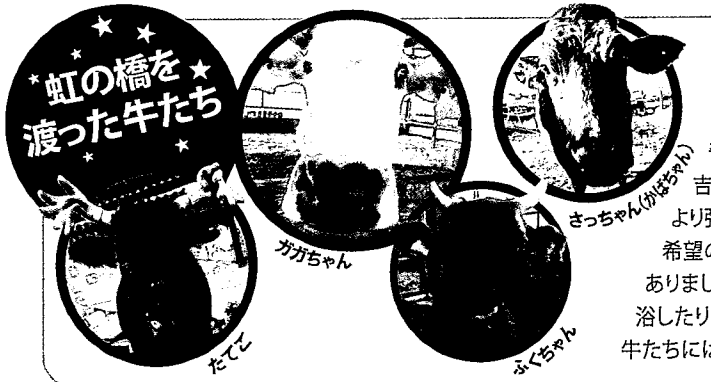
- ・9/28 ふくちゃん安楽死

2020

- ・2月 吉沢、ヨルダン遠征
- ・6/15 波谷事務局 閉鎖

2021

- ・7月 「希望の牧場・ふくしま」発足から10年



震災当時、希望の牧場では、放れ牛のレスキューなどで、300頭を超える牛たちがいました。また、ガガちゃんのように歩いてやって来た牛もいます。希望に縁あって生きた牛たちは、選ばれた牛なのかもしれません。個性的で好奇心旺盛で愛嬌たっぷりの牛たちも、今となっては虹の彼方へと旅立ちました。吉沢さんはよく、「牛が多すぎる!」と言いますが、多すぎるからこそ力の強い牛はより強く、弱い牛は餌にありつけない。牛は牛なりに生かされている分、被ばくしながらも希望の牧場に貢献しているんですね。プログをたどると興味深い牛たちの姿がそこにありました。ストーブ牛、シゲシゲ、ホル....。牛たちの幸せとは、毎日腹いっぱい食って、日光浴したり、闊歩したり。もう、以前のような特別扱いはないそうなので、希望の牧場で生きる牛たちには、争いは程々に怪我の無いよう精一杯生きてほしい。(編集スタッフ 柴田明美)

緊急告知!

※経費削減のため、BECO新聞は一色印刷になりました

希望の牧場・ふくしまからご寄付のお願い

～お寄せいただいたご寄付は、牛たちの命をつなぐため大切に使います～

餌が足りない大ピンチ!



- (1) 旧警戒区域内に取り残された被ばく牛の保護・飼育
- (2) 今後の放射能災害の予防に貢献し得る、貴重な科学的データを集積するための研究や調査のサポート活動
- (3) 被ばく牛の世話を続ける農家の支援など

牛たちを生きかすため、ご協力よろしくお願ひします。

東北・北関東の牛飼いの皆様へ

牧草ロールを必死に探しています

●お振込方法・・・**ゆうちょ銀行口座へ**

1. 払込取扱票から

必ず下記の払込取扱票をご利用の上、お振込みください。

※払込取扱票でお振込いただけますよう、口座を新設しました(振込手数料が別途かかります)

2. ゆうちょ銀行の通帳、キャッシュカードネットから

- ・記号：00830-2
- ・番号：184133
- ・名義：一般社団法人 希望の牧場・ふくしま

3. 他の金融機関から

- ・店名：〇八九(ゼロハチキュウ)店
- ・店番：089
- ・種目：当座
- ・番号：0184133
- ・名義：一般社団法人 希望の牧場・ふくしま

●お振込方法・・・**三井住友銀行口座へ**

- ・店名：渋谷駅前支店
- ・店番：234
- ・種別：普通
- ・番号：4486384
- ・名義：一般社団法人 希望の牧場・ふくしま

年間餌代 約10,800,000円!



希望の牧場・ふくしま 「牧草ロール」ホットライン

TEL.090-1279-2106 担当:針谷

kibouno.bokujoyou@gmail.com

牛たちの餌に赤信号が点滅しています。牛達の命は、継続的な牧草ロールの確保にかかっています。ご提供いただける牧草ロールがあれば、上記の電話かメールまでご一報ください。(無償・有償、輸送の方法・費用などについてはご相談させていただきます)

※輸送の都合上、大型トレーラー1台分よりお願いいたします

“希望の牧場”の牛って1日どのくらいの牧草食べるの? いくら位かかるの? (現在約240頭の牛たちがいます)

[牛は、牧草ロール(約300kg)に換算して1日に8~10個食べます]

- ・1日に食べる牧草代・・・1個約3,000円×10個=30,000円
- ・1ヶ月だと、約300ロール……………900,000円
- ・1年だと、約3,600ロール……………10,800,000円

例えば…



払込取扱票

00 口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。

口座記号	00830	口座番号(右詰めで記入)	2184133	金額	千	百	十	万	千	百	十	円
加入者名	* 一般社団法人 希望の牧場・ふくしま			料金								
通信欄	* お振込みいただいたご寄付は、牛たちの命をつなぐため大切に使います。(Vol.8) * ご寄付いただける金額にチェックをお入れください。 <input type="checkbox"/> 2,000円 <input type="checkbox"/> 3,000円 <input type="checkbox"/> 5,000円 <input type="checkbox"/> 10,000円 <input type="checkbox"/> その他()円 郵便局のATMからお振込いただくと振込手数料が少しくなります 〒 - おとこ おなまえ (ご連絡先電話番号) - -											
依頼人	日 附 印											

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	* 00830		* 2184133					
加入者名	* 一般社団法人 希望の牧場・ふくしま							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
おなまえ	* 依頼人							
ご依頼人	様							
料金	円							
備考								

ゆうちょ銀行をご利用の方は、本払込取扱票をご利用ください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所を訂正印を押ししてください。

この受領証は、大切に保管してください。



Vol.8
ちび太くん♂

「ちび太く〜ん!」「ちび太く〜ん!」牧場へ行くといつもちび太くんを探した。第一牛舎、たまに第二牛舎周辺にすることが多かったけど、いつのまにか放牧場へも行くようになり、探すのが大



絵本「希望の牧場」

ずブラッシングしたね。やってあげるとじっと頭をたれて、気持ちよさそうにしてたね。他の牛にやってあげると、必ず割り込んで来てやってやってが止まらなかったな。この時だけは強気のちび太くんだったね。かぼちゃ祭りや米糠を持って行った時は、ちび太くんを探して多めにあげたよ。だってちび太くんは特別だもの。ポンポコリンの腹部は以前からだったけど、19年春頃から毛艶が悪く、元気がなくなってかなり痩せたね。いつもはツヤツヤだったのに...



2020年6月10日、ちび太くんは静かにそして、あつけなく逝ってしまった。

ちび太くんはずっといてくれるんじゃないかって勝手に思ってた。ちょっと気弱で大人しくて、愛嬌があってみんなに愛されたちび太くん。ちび太くんがいない牧場は、本当にさびしいよ。気づいた時に、もっと何か出来たんじゃないかって悔やまれる。

ちび太くん、ごめんね。そして、ありがとう! また会いたいよ! (希望の牧場・ふくしまサポーター 柴田明美)

変な事もあったよ。ちび太くんは、2011年国による家畜の殺処分が決定し、行政欄に母牛とともに捕まったが、まだ幼い子牛だった事もあり「ふるさと心を守る会」により、希望の牧場へ連れて来られた。母牛は殺処分となった。当時、第一牛舎から動画配信があり、カメラに写るちび太くんは、まだ幼くあどけなさが残り、時折訪れるボランティアにスリスリしているのがとても印象的だった。いつの頃からか、いちごちゃんと一緒にいる事が多くなり、仲の良い姉弟のようで「ちびいち」とも呼ばれていたね。また、2013年に開催された写真展の人気投票ではふくちゃんに次いで2位!ご褒美の果物や野菜を頬張るちび太くんは笑っているようだった。本当にかわいかったよ。絵本「希望の牧場」では、表紙を飾って吉沢さんのとなりで静かにたたずんでいる。存在感がすごい!ちび太くんはブラッシングが大好きで、牧場へ行った時は必



ちびいち



牧場へ来た頃のちび太くん



人気投票で2位獲得



凜々しいちび太くん

希望の牧場・ふくしま 基本情報

○アクセス「希望の牧場」は、地図上の表記は「吉沢牧場」になります
〒979-1501 福島県双葉郡浪江町立野春卯野157
・東京方面から車利用の場合 常磐道浪江IC下車 約5分 [NEXCO東日本http://jobando.jp]
・高速バス利用の場合 ●福島駅から 福島駅⇨南相馬間(片道1,100円、約2時間) 東北アクセス/TEL.0244-26-5554、福島交通/TEL.024-535-4102 ●東京から 東京駅⇨原ノ町駅(東北アクセス)、池袋/新宿/東京駅⇨南相馬間(さくら観光 http://489.fm)
○牧場の情報はブログ・ツイッターで ・ツイッター @kibounobokujyou
・ブログ http://blog.goo.ne.jp/kibouno-bokujyou [希望の牧場](#) で検索

事務局閉鎖のお知らせ 【渋谷】事務所を昨年春に閉鎖しました。今後、事務局業務はテレワークで行います。新しい連絡先などは以下の通りです。
住所：〒979-1501 福島県双葉郡浪江町立野春卯野157 希望の牧場・ふくしま
電話：090-1279-2106 (※2020年5月変更になりました)
FAX：03-4586-7119 (※2019年9月変更になりました)

【牧場見学について】
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、団体(5人以上)を対象とした牧場見学を2021年3月1日現在、中止しています。再開の時期が決まりましたら改めてブログ等にてお知らせします。ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

編集部からのお願い ○イベントや勉強会などでBECO新聞の配布をご希望の方は、用途・氏名・住所・TEL・届け先・希望枚数・着日を下記までお知らせください。(※送料着払い)
メール: beconews2014@gmail.com TEL.090-1279-2106(ハリガヤ)
○BECO新聞は1部あたり25円の印刷代がかかっています。継続発行のため、印刷代相当のご寄付にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ご意見・ご感想
牧場のイラスト・
写真・作文など
大募集!

BECO新聞の定期購読(無料)をご希望の方は下記のアドレスへメールでお申し込みください。 beconews2014@gmail.com
【個人情報の取り扱いについて】「BECO新聞」は、サポーター登録をして頂いた方、名刺を頂戴した方などにお送りしています。当団体は、サポーターさまの個人情報の保護に細心の注意を払っております。万一問題が生じた場合は速やかに対処いたします。
※「BECO新聞」の「BECO」とは、被曝牛とともに生きる私たちの仲間になってほしいという願いを込めて、【べこ(牛)】と【仲間になる(become a member)】ふたつの意味をかけて名付けました
＜編集スタッフ＞ 針谷勉(P)、上田のぞみ(M)、柴田明美(GD)



【発行】非営利一般社団法人 希望の牧場・ふくしま
〒979-1501 福島県双葉郡浪江町立野春卯野157
TEL:090-1279-2106 FAX:03-4586-7119
E-Mail: kibouno.bokujyou@gmail.com